

岡山県産業廃棄物実態調査結果（令和6年度実績）

1 目的

県内における産業廃棄物の排出、処理状況の実態を把握することにより、本県の産業廃棄物適正処理対策の推進に必要な基礎資料を得る。

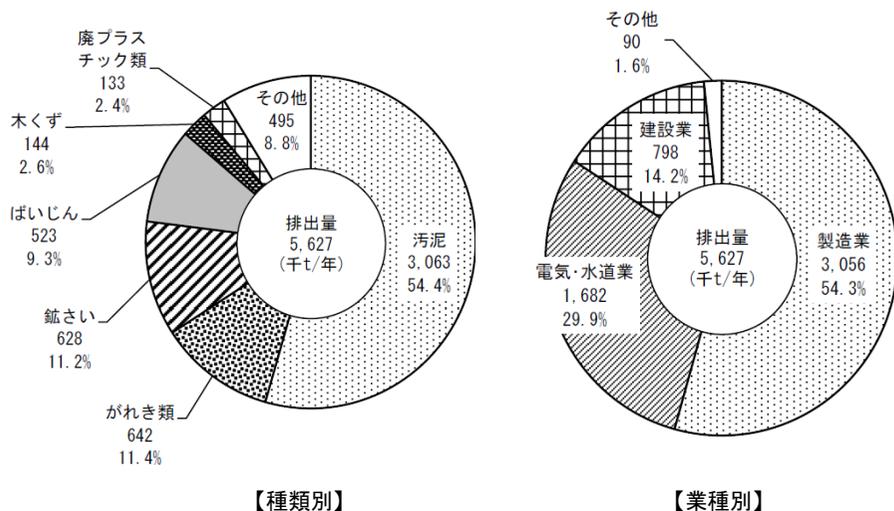
2 調査方法

令和6年度に県内で発生した産業廃棄物について、産業廃棄物多量排出事業者からの処理計画や実施状況報告、産業廃棄物処理業者からの処分実績報告、排出事業者約5,000社へのアンケート結果を用いて推計。

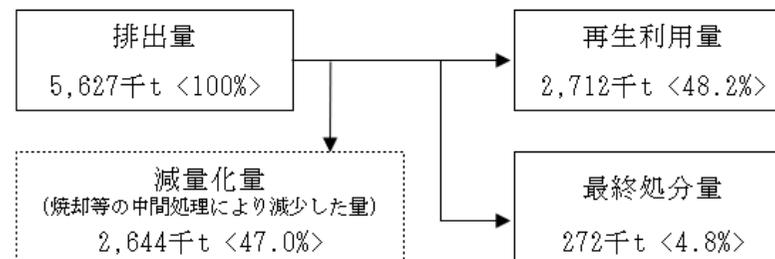
3 調査結果

排出量の総量は5,627千tであり、種類別では、汚泥が3,063千t（54.4%）、がれき類が642千t（11.4%）、鉱さいが628千t（11.2%）。

業種別では、製造業が3,056千t（54.3%）、電気・水道業が1,682千t（29.9%）、建設業が798千t（14.2%）。

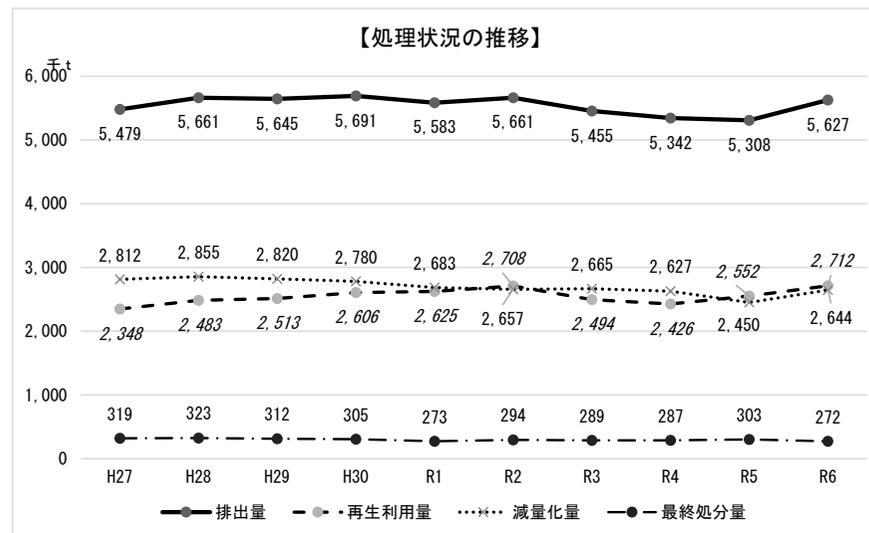


【処理の流れ】



注:保管中など処理未完了のものがあるため合計は合わない。<>内は、排出量に対する割合

【処理状況の推移】



【参考】第5次岡山県産業廃棄物処理計画（令和3～令和7年度）の目標との比較

区分	項目	排出量	再生利用率	最終処分量	排出抑制・資源化率
第5次計画目標値 (目標年度：令和7年度)		5,626千t/年	47.0%	271千t/年	96%
令和6年度実績 (目標値との比較)		5,627千t/年 (+1千t/年)	48.2% (+1.2%)	272千t/年 (+1千t/年)	96.1%
目標達成状況		未達成	達成	未達成	達成

※排出抑制・資源化率 = (1 - 埋立処分量(最終処分量) ÷ 平成17(2005)年度の排出量(6,971千トン)) × 100